

MACHINE TIME EXECUTION

REPORT (2003-3CYCLE)

Experimental Group	T542	Reporter	佐藤 朗
Scheduled Period and Shift	03年6月25日～ 7月1日 (17shifts)	Main, Sub, Para	Para
Experimenters : 佐藤朗、坂本英之、松島朋宏、中原健吾、前田文孝、久野良孝、 青木正治、吉村浩司、五十嵐洋一、横井武一郎、他			
SUMMARY OF EXECUTION AND RESULTS 本テスト実験では極細シンチレーティングファイバーについて、その光量およびファイバー間のクロストーク量と蛍光体配合との関係を調べるためのデータを収集した。後述のようにシフト数が減ったため、予定していた実験予定を若干変更し、最低限必要な以下の条件について優先しデータ収集を行った。 1) 極細350 μ m ϕ ファイバー(4種)における光量測定とクロストーク測定 2) 700 μ m ϕ 、1mm ϕ ファイバーにおける光量測定 極細ファイバーについての光量解析はほぼ終わり、最大光量を示す蛍光体の配合が決定できた。今後の解析によりこの結果の解釈及びクロストーク量の見積もりを行う。今回収集できなかったデータについては、大学でその代用となるデータが取れるかどうかを検討している。			
EXECUTED MACHINE TIME, BEAM CONDITION, DOWN TIME etc. Main Ring Tuningの遅れによりビームタイムが6月26日～7月2日までに変更された。また、ブースタートラブルのため29日21:41から翌23:30までの間ビーム供給がストップした。このため安定にビームが供給された時間は約14シフトであった。			
COMMENTS			